

カード一時紛失で…

定期券と学生証も…

2013. 2. 27

JR東海労東二運分会

所員のみなさん

⑦

突然ですが、カードや携帯品の紛失及び一時紛失に、皆さんは細心の注意を払っていることと思います。掲示や口頭で、注意するように、と喚起しています。でもやっぱり(?)、ダメな時はダメ。そもそも、無くそうとしている人がいるとは思えませんが、すぐに発見されても紛失は紛失で、頭に「一時」と付こうとも紛失とされ、時系列等報告書、私の対策となり、最悪の場合は日勤です。

紛失を隠すと罪が大きくなることから、仕方なく正直に申告することになります。特に一時紛失は、安全やセキュリティーに影響が及ばなくても関係なく追及されます。過去には、社員証の入ったカバンを忘れるということもありました。こうした時系列等報告書の作成や日勤など、社員への対応は職場の管理者の判断だけで行われているわけではなく、全社的な社員管理の一環として行われています。

社員証といえば、「入社は偶然だった。大学4年の5月に定期券と学生証を落とした。

メーカーさんには無断借用です



受け取りに行った駅の助役に、東大出身なら国鉄の出世は早い。5年で課長、10年で部長、20年で局長だ、と勧められ。組織を動かす仕事に早く就けるのは魅力と思った。もともと国の興亡とかリーダーの決断に興味があった。」という、昨年新聞記事を思い出しました。…わざとらしいですか？

感の良い方は気づかれたと思います。??…という方のために説明しますと、これは、K青年が国鉄に入社しようとした時の動機の一つとして紹介されたものです。

所員のみなさん

東大生のK青年は、正直に大学に申告したでしょうか？ それとも助役さんに丁寧にお礼を言って、何とぞ御内密に、とお願いしたのでしょうか？ 想像ですが、私たちJR東海の職場に置きかえて考えると、大学の担当者に事の顛末を詳しく文書で報告し、再発の時は退学で構いません、と対策も書いたでしょう。

「良きリーダー 昔のことも 隠さずに」 CD 頑爺

多くの読者の皆様から、前号⑥の「会たより 春夏秋冬 心地よく」の意味が分からんとお叱りの声が寄せられました。加えて、標題の「新幹線でも巨大地震に備え」について、4行しか書いてないじゃないか、とも。書いている間にそうってしまった、自己満足でした。私の対策なしで、口先だけですが、まことに申し訳ございませんでした。今後は再発はしないように努力します。

さて、川柳の心ですが、総理大臣が 四季の会 会員だということだけです。「会たより」は「会に頼って」と、「春夏秋冬」は「1年間」と、読み替えて、もう一度読んでみてください。ネ 何となく…